



8年ぶりのライブ

関西 京都 今村組



平成22年

「感動」という名の  
贈り物



広報のと 第67号

平成22年9月1日発行

発行：能登町 編集：広報情報推進課  
〒927-1049  
石川県鳳珠郡能登町字出津新1字197番地1

☎：0768-62-10000  
能登町URL：http://www.town.noto.lg.jp  
Eメール：info@town.noto.lg.jp

の  
能登日和  
英国日和  
イギリス

能登町を故里として  
英国で活躍する抒情書家

室谷文音がつづる  
フォトエッセイ。



初めて見た本物のアルプスは（フランス）、想像を絶する高さに稜線がありました。この偉大な大自然に囲まれて育ったら、心の大きい人間になるような気がしました。

普段浜から海を眺めています  
が、海の中から振り返った時  
の浜の景色が「非日常」を感じ  
させてくれます。

「自立」

イギリスへの夢を温めていた小学生高学年のころ。「二人で生きていくには自立しないとけない」と子ども心に感じて、ある日母に尋ねてみました。「どうしたら自立できるの?」すると母は、こう答えてくれました。「健康管理と精神管理が自分で出来るようになったら、自立できるよ」

風邪をひきそうだなと思ったら早めに寝るとか、自分で身体コンディションを管理すること。そして、人生いいことばかり起きる訳ではないので、落ち込んだ時に自分自身でどう励ますかということ。

このたった二つの条件が、簡単なようで意外と難しいのです。大人になった今も、母のあの時の言葉はしっかりと心に残っています。そして、小学生を相手にでも真剣に答えてくれた母に感謝しています。

社会が自然と守ってくれる日本とは違い、ヨーロッパの国々は個人主義です。自分がしっかりしていないと、誰も守ってくれません。

日本では美德とされる『控えめ』であったり『遠慮』をしていると、ご飯すらあたりません。

おかげで、いい意味で『積極さ』を学びました。日本の『奥ゆかしさ』とヨーロッパの『自主性』。この二つを上手く調和して生きていくことが、これからの私の目標です。



室谷文音（むろや・あやね）

昭和55年大阪府生まれ。13歳で渡英し、平成18年に両親と共に能登町に移住。内浦長尾にアトリエ「桃花林」を構える。海外アーティストらとの合同展『遠島山公園「ハーモニーセンター」物語』を10月10日から11月11日まで開催。

『たどりつきたい場所があるから』

